

豊かな心を持ち、進んで行動する生徒の育成

関中だより

三年生は進路決定の一学期

令和元年
9月 2日
第16号
(文責)花岡

今日から、二学期が始まります。「いよいよ二学期が来たな」・・みんな一人一人が、色々な気持ちで、この二学期を迎えたことでしょう。言うまでもないことが、この二学期は、みなさんにとて、非常に大切な二学期です。昨年の二学期や、おととしの二学期とは、おおいにちがう点があります。一年生は初めての体育祭、文化祭が待っています。一年生は後半からは関中学校の中心となつて学校を引っ張つて行かなくてはなりません。

三年生は、最後の行事に精一杯取り組み、そして義務教育の9年間の最後に進路を決めていかなくてはなりません。その進路をどうとするのか、どうなりたいのか。それをじっくり考え、考えたことを煮つめて「この道を自分は進みたい」と決める・・そんな時期がこの二学期なのです。わからない、わからないと、自分は何もしないで進路を他人まかせにしていてはいけません。みなさんは自身の進路にとつては親も、兄弟姉妹も、他人なのです。みなさんの進路を誰も代わって進んでもういくらやつてもダメだと思う」と悲しいことを言う人もいるかもしれません。しかし、そうではないと考えてください。



「今年の夏休みは自分なりに充実した夏休みにできたと思いません」という人もいれば、「中には、自信を失つてしまつた。ほんとにダメにしてしまいます。最後まで自分を捨てないで頑張りぬいてほしい。自分を捨てた。自分の意見じゃなく他の人の意見を聞いてほしい」と悲しいこと

捨てるような人を、誰が見捨てないで面倒をみてくれるでしょうか。自分にきびしく、他人に甘えることなく、『進路』と云い聞かせて、生き抜いていきましょう。『進路』というと、とかく、自分のことばかり目を向げになりますが、こんな時こそ、仲間と励まし合い、助け合つて、この二学期をのりきつていきましょう。

昨年度も紹介しましたが、龜山市の中学校はどこで人権について考え方を持ったままです。その組織を中心にそれぞれの学校の取り組みを交流する会を三中交流会といつて、今年も関中学校を会場にして8月2日に行われました。初対面なので、緊張しながら会話を進めたのですが、時間が経つごとにうち解けあい、お互の学校の取り組みができました。

三中交流会が行われました

意見交流会でLGBTの人たちのことを考え、とても勉強になりました。いい経験になりました。LGBTの人気が過ごしやさないといふべき社会を作つていいと思います。LGBTの人たちのことを考えていました。この会議は個室にしたり、男女兼用トイレを作ることなどたくさんありました。この作業は面白いことだと思います。感謝の気持ちをもつて使うのが、普段使っているグラウンドも見えないと感じました。この作業は楽しいことだと思います。感謝の気持ちが良い中で体育祭を行っています。毎年主に学校のグラウンドの側溝の砂を取り除いてもらいました。普段あまりできないところを協力して、きれいにしていただきました。

LGBT・・・セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の総称



猛暑の中、保護者も子どもも一生懸命みぞを掃除してくれました。ふたをあけて、戻すのが大変でした。



PTA親子清掃ありがとうございました

主に学校のグラウンドの側溝の砂を取り除いてもらいました。普段あまりできないところを協力して、きれいにしていただきました。この作業は楽しいことだと思います。感謝の気持ちをもつて使うのが、普段使っているグラウンドも見えないと感じました。この作業は楽しいことだと思います。感謝の気持ちが良い中で体育祭を行っています。毎年主に学校のグラウンドの側溝の砂を取り除いてもらいました。普段あまりできないところを協力して、きれいにしていただきました。